

平成 19 年度 第 5 回教育研究会議議事録

1 . 日 時 平成 19 年 8 月 14 日(火) 13 時 30 分 ~

2 . 場 所 学術交流会館特別会議室

3 . 出席者

南(理事長,議長)

藤岡、菅野

八尾

切畑、寺岡、黒田、青山、林、石井

辻川、小崎、上田、松川、寺迫、末原(代理)、今木、山口、辻

< オブザーバー >

北條

[審議事項]

1 . 公立大学法人大阪府立大学の学術研究に係る行動規範(案)について

研究者が社会に対する説明責任を果たし、自らの行動を厳正に律するための倫理規範を確立する必要がある、そのために、今般、公立大学法人大阪府立大学において、行動規範を定める旨説明がなされ、異議無く了承された。

[報告事項]

1 . 平成 19 年度第 1 回学生委員会(7/25)の概要について

平成 19 年 7 月 25 日(水)に、学内委員(教員)により第 1 回学生委員会が開催され、平成 18 年度学生相談実績について、友好祭の結果について、定期戦(対大阪市立大学、対首都大学東京)の結果について、等の報告がなされた。

2 . 平成 19 年度第 1 回外国人留学生委員会(7/31)の概要について

平成 19 年 7 月 31 日(火)に、学内委員(教職員)により第 1 回外国人留学生委員会が開催され、留学生の受入れ状況や留学生学外研修の協議結果等の報告がなされた。

3 . 平成 19 年度学位記授与式(平成 20 年 3/24)について

平成 20 年 3 月 24 日開式予定の学位記授与式について、(旧)大阪府立大学・(旧)大阪

府立女子大学・(旧)大阪府立看護大学で行われる旨の報告がなされた。

4．オープンキャンパス実施結果について

平成 19 年 8 月 9 日・10 日に行われたオープンキャンパスの速報について、6,113 名の参加があり、大過なく無事終了した旨の報告がなされた。

5．保護者向け就職ガイダンス(8/7)実施結果について

平成 19 年 8 月 7 日に行われた保護者向け就職ガイダンスについて、94 名の参加があり、主な内容としては、(1)講演「就職活動の実際と保護者の役割」(2)本学の就職支援内容と年間スケジュール説明(3)進路・就職相談会が行われた旨の報告がなされた。

6．学生に対する一斉通信について

本学学生に、重要・緊急連絡事項や休講情報等を配信するサービスとして、携帯電話や自宅パソコンを登録可能とする、一斉通信サービスを進めていく旨の報告がなされた。

7．平成 19 年度外部研究資金獲得の優秀教職員表彰について

平成 19 年 7 月 27 日に、平成 19 年度外部研究資金獲得の優秀教職員表彰式が行われ、本年度は 28 名が表彰された旨の報告がなされた。

8．平成 18 年度外部研究資金の獲得教員率及び獲得金額ゾーン別の教員数と獲得金額について

平成 18 年度の外部研究資金の獲得教員率について、教員 1 人あたり獲得金額と獲得教員 1 人あたり獲得金額、獲得教員率が報告され、また、平成 18 年度獲得教員の獲得金額ゾーン別の教員数と獲得金額についても報告がなされた。

9．平成 19 年度科研費の申請状況について

平成 19 年度科研費の申請状況について、教員数と研究代表者から未申請教員数を割り出した旨の報告がなされた。

10．20 年度以降の『基盤研究費予算配分方式』の変更(案)について

現行の基盤研究費を教員全員に無条件で配分する方式を改め、全教員が、毎年度 2 月までに、部局長を経由して次年度の 基盤研究費申請書 を学長 / 理事長に提出する方式に変更する旨の報告がなされた。今回の変更は、平成 20 年度予算配分から実施され、平成 22 年度より基盤研究費申請書の未提出者に対しては、基盤研究費は配分されない旨の説明がなされた。

1 1 . 平成 19 年度「特色ある大学教育支援プログラム」(現代 G P)の採択について

平成 19 年度「特色ある大学教育支援プログラム」について、本学から 1 件申請し、採択された旨の報告がなされた。区分・細区分は<学士課程・教育方法の工夫改善を主とする取組>、取組名称は<大学初年次数学教育の再構築>であり、1 年次の数学教育において「能動的な学習への移行」を基本構想とし、授業内容の検討や授業時間外の能動的な学習の支援等、様々な取組みを行っている旨の報告がなされた。

1 2 . 看護学部の e-Learning の厚生労働大臣賞受賞について

本学看護学部の「看護実践能力を支援する e-Learning 実践」が第 4 回日本 e-Learning 大賞において、学習モードの多様性があること、それぞれのコンテンツの質の高いこと、等の理由から厚生労働大臣賞を受賞した旨の報告がなされた。

1 3 . 看護学部のがんプログラムの採択について

平成 19 年度「がんプロフェッショナル養成プラン」に、近畿大学等大阪エリアの 6 大学が連携したオンコロジーチーム養成プラン「近畿圏のがん医療水準の向上と均てん化を目指した国公立大連携プロジェクト」が、採択された旨の報告がなされた。がんプログラムは、新たながん治療体制の構築へ向け、医療現場で直接役立つ人材の養成へ視点を置いた、教育研究拠点を整備し、体系的な教育課程の編成と適切な教育・指導の実現を目指すものである旨説明がなされた。

最終的に 18 拠点が採択され、今後 5 年間で 14 億円の予算が組まれていることも、併せて説明された。